

フォースウェーブ・パートナーズ

ライン自動化システム参入

【福岡】フォースウェーブ・パートナーズ(福岡市中央区、保田英文社長、092・710・3031)は、製造ライン向け自動化システム事業に参入する。工場自動化(FA)機器の導入に必要な設計開発を担うほか、自社でパッケージ化した製品を販売する。九州を中心に多品種少量型の製造現場をターゲットに展開する。

多品種少量の製造現場照準



フォースウェーブ・パートナーズは関東物産(東京都中央区)、イーモーション(福岡県古賀市)、ワークス(同遠賀町)などが出資して設立した。起業支援施設のクリエイション・コア福岡(同筑紫野市)を拠点に、システムの設計開発やメンテナンスを行い、デモ機の展示も手がける。

▲小型多関節ロボットで省スペース化した自社パッケージ製品も展開する。

安川電機やフアナツクなどの多関節ロボットを導入先の工作機械などに合わせた仕様にし、省力化が難しい多品種少量型の製造現場を中心に提案する。FA機器の特性を生かした自動研磨装置など自社でパッケージ化した製品も展開してユーザーへの提案の幅を広げていく。

受注は関東物産福岡支店(福岡市中央区)を窓口とし、設計開発を主にイーモーションが担う。各メーカーのFA機器に対応し、現場への導入にかかる期間の短縮やメンテナンスまでの一体展開でユーザー獲得を図る。